

■ドイツ：電気料金に占める公租公課、記録的額に

ドイツエネルギー・水道事業連合会（BDEW）は2013年6月10日、ドイツの電気料金に占める公租公課の合計額が過去最高の316億ユーロに達したことを明らかにした。これは電気料金負担額の約50%に相当する。2012年と比較すると77億ユーロの増加となっている。全体の3分の2にあたる204億ユーロ分は再生可能エネルギー導入のためのサーチャージ料金である。ドイツの標準家庭（3人家族、年間電力使用量3,500kWhの場合）の一カ月あたりの電気料金は約83.80ユーロ（約10,900円）となり、1998年時点の約49.90ユーロ（約5,500円）と比較すると約7割増えている。この間、発送配電費用は11%の上昇にとどまっているのに対し、公租公課は243%増加している。BDEWのミュラー専務理事は、2014年の再生可能エネルギー賦課金はさらに上昇する可能性があるため、再生可能エネルギー法の見直しが必要だとしている。